

# 歩 -AYUMI-

一歩一歩進む 少しずつ目標に近づく

分類	湯沢・雄勝地区			横手・平鹿地区			大仙・仙北地区			3地区合計		
	昨年	今年	増減	昨年	今年	増減	昨年	今年	増減	昨年	今年	増減
B・専門、技術的	15	14	-1	11	19	8	38	35	-3	64	68	4
C・事務的	13	8	-5	13	8	-5	8	8	0	34	24	-10
D・販売業	12	7	-5	7	6	-1	9	7	-2	28	20	-8
E・サービス業	12	5	-7	18	12	-6	36	26	-10	66	43	-23
F・保安	5	5	0	1	1	0	2	2	0	8	8	0
G・農林漁業	3	4	1	0	2	2	6	5	-1	9	11	2
H・生産工程	26	23	-3	43	29	-14	56	30	-26	125	82	-43
I・輸送、機械運轉	7	9	2	6	4	-2	9	10	1	22	23	1
J・建設、採掘、電	11	14	3	11	12	1	26	22	-4	48	48	0
K・運搬、清掃、包	6	7	1	6	1	-5	2	5	3	14	13	-1
合計	110	96	-14	116	94	-22	192	150	-42	418	340	-78

単位：件

## 今年度の県内求人状況

### 新型コロナウイルス感染症の影響避けられず

本校の就職支援員である小林大介さんが7月15日（水）現在の県内求人状況をまとめてくれました。求人票公開前の予想では、新型コロナウイルス感染症の影響は高卒求人に対してはそれほど大きくはなさそうだと考えておりましたが、業種によってはやはり大きな落ち込みが見られます。小林さんは以下のように分析しています。

- ・7月15日現在で、湯沢・横手・大曲の各ハローワークに登録された求人票の数は、昨年と比較して、78件の減少が見られる
- ・主な原因としては、生産工程の減少が大きく、減少分の55%以上を占めており、次に、サービス業の29%と続く
- ・地区別に見ると、大曲・仙北地区の減少が大きく、減少分の53%以上を占めており、大きな要因は、生産工程の減少による
- ・湯沢・雄勝、横手・平鹿地区に共通する点は、事務職の大幅減少があり、いずれも38%以上の減少となっている
- ・生産工程が大幅に減少した要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響で、自動車関連などの海外関連工場の休業による生産ラインの停止やそれによる大幅な減益予想のためであると思われる
- ・サービス業の減少は、ホテル業・飲食業などの休業による収入源が経営を圧迫しているためと思われる

事務的職業、サービス業、生産工程の業種は希望者が多い業種で、これらの業種の求人数減少は今後の就職活動に大きな影響が出ると憂慮されます。就職を選んだ3年生は、この夏に万全の準備をして、この難局を乗り切りたいと切に願っています。

#### 1年生へ

##### 1学期の振り返りを

初の考查の結果が出て、高校生活の様子がつかめてきたと思います。振り返りをして、好調な2学期のスタートを切ってください。ここからが本番です。

#### 2年生へ

##### 高2の2学期がカギ

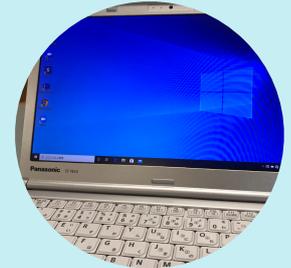
高校時代で卒業後の目標達成のカギを握るのは高2の2学期です。3学期は本番に向けての準備に入ります。ここで実力をしっかりつけることが大切になってきます。

#### 3年生へ

##### 学びの夏を

高3の夏は特別な時間。就職でも進学でも、夏休みは進路実現のための一番重要な時です。時間を大切に使って、学びの夏を過ごしてください。

### リモートイベント用 コンピュータ導入



新型コロナウイルスの感染拡大により、企業ではリモートワークを導入していることが話題となりました。

学校にも、オンラインでの学校説明会や入試説明会、企業の説明会の案内が届くようになりました。場合によっては企業や学校の「面接」もリモートで行われることも考えられます。

そこで進路指導部ではリモートイベントに対応できるコンピュータを導入しました。カメラとマイクが内蔵されており、比較的簡単にリモートイベントに参加することが可能になっています。

このコンピュータを使用したい場合は、担任の先生に相談してください。進路目標実現のために、多くの皆さんに活用されることを願っています。

# 変わる2021年度入試

## ③入試のスケジュールが変更されました

### 令和3年度大学入学者選抜に係る試験期日及び試験実施の際の配慮事項について

#### 令和3年度入学者選抜日程



今回は入試のスケジュールが変更されていることについてお知らせします。

文部科学省は6月19日に「令和3年度大学入学者選抜実施要項」を発表しました。その中に試験期日についても記述があり、注目すべき点としては、総合型選抜や学校推薦型選抜のスケジュールが後ろ倒しになっていることと、共通テストが本試験2回と特例追試験の計3回行われるということです。具体的には上の図を参照してください。

2021年度入試はもともと変更点が多いことに加えて、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてさらに変更が加えられたため、非常に複雑な日程になっています。大学進学を目指している人は入試要項をしっかりと確認して、間違いのないように進めていく必要があります。

## 予測不能の社会

新型コロナウイルス感染症に振り回された1学期でした。このウイルスに関連して多くの難しい問題が生じておりますが、先が読めないことも問題を深刻化させる理由の一つとなっています。でもこのような不確実な社会の到来は前から言われていました。コンピュータ技術が発展してAI(人工知能)が登場し、現在は人がやっていることの半分は人がやる必要がなくなると言われてきました。このことは人の働き方が大きく変化することを意味しており、終身雇用、年功序列に守られてきた働き方—学校を出ていい仕事、安定した仕事に就く—という働き方ではなくなり、別の労働スタイルになるだろうと言われておりますが、それがいつ、どのような形になるのかは今のところはっきりとは予測できません。では、そのような変化の激しい社会の中で生きていく今の高校生はどうすればいいのか。今言えることは「自分にたくさんの能力をつける」ことしかないと考えられます。「私はこれができる、この能力がある。」と自信をもって言える人は、そのような社会の中でもきっと自分らしい生き方ができていこうと思われれます。学生のまずやるべきことは学んで能力を高めていくことです。ぜひこの夏は「学びの夏」にして、来るべき社会で活躍していく準備をして欲しいと思います。

